

ATIS 第 372 回 10 月例会報告

今回は川崎駅に近い東芝未来科学館の見学会を中心に会員 44 名の参加で行われました。

リニューアルされた未来科学館はゆったりしたスペースが確保され、大変に充実した展示館です。見学では 2 班に分かれ、案内スタッフから主要な館内展示をピックアップして頂き、丁寧な説明を約 45 分受け、その後約 30 分の自由見学を行いました。興味を引く展示が多く、あっという間に時間が経ちました。

田中久重氏と藤岡市助氏の二人の「創業者の部屋」では、和時計の万年自鳴鐘(展示は複製されたもので現在時刻を刻んでいます)等の展示から始まり、「1 号機ものがたり部屋」では、東芝が日本で初めて世に出した扇風機、洗濯機、冷蔵庫、カラーTV、ワープロなどが展示され、驚きと共に懐かしさを感じる展示品が多数有りました。東芝がものづくりを追求し、またその技術の進歩が窺えます。現在から未来に向けての展示では、エネルギー、街、ビルや家、健康、情報などの分野で東芝が貢献している或いは将来に貢献を目指す製品やシステムがパネルや模型で紹介されています。さらに子供達が科学技術を楽しく体験して学び遊ぶアミューズメントコーナーも設置されています。毎日、多くの小学生や中高生も来館するとのことでした。

その後、東芝殿の食堂で代表幹事報告と、恒例の懇親会を行いました。

